虫目検校

むしめ　けんぎょう

秋山亜由子

パチッ

検校さま
虫目検校さま
へへーっ
そなたたちは?
おらたちは
蚊でごぜえます
何じゃん?
どうしたのだ
これ、頭を上げなさい
これ
は……
は
はなしがありますだ

け、検校さまは
おらたち虫ケラの
味方だ
決して悪いよう
にはしねえ
そ、そう聞いた
だで、
おらたち
お願えに上り
ましただ
検校さま
人間様方に
もう おらたちを
打たねえよう
言って聞かせて
おくんせえ
お願え
しますだ
んだな
んだ
んだ

そう言われて
ものう…
お前たちは
我らの血を
好むからのう
あれは
たまらんのだ
違うだ
それは違うだ
んだから言って
るんでねえべか
おらたちを打た
ねえでくれろって

168

あれは皆
オナゴどもの
仕業だ
おらたち男は
そだら えげつ
ねえ真似あ
したことねえだ

おらたちは、ずーっと花の蜜さ飲んで暮してるだ
蝶々や蜜蜂みてえに
それが、何の因果かあのオナゴどものせいで
おらたちまで巻添くって

打つんだばオナゴどもだけ打って下せえ
もうおらたちはいやだ

しかし我々には蚊の男も女も区別がつかないよ

えーっ
んなバカなこと信じられねえっ

いっそお前たちが女どもを説得してみたらどうだね
ともに牧歌的な一生を送れば、打たれることもないさ

んだどもなあ
血さ吸わねえと
ええ子さ産め
ねえべ

子供は
可愛いで
なあ

んだども
なあ

何だか言っている
ことの辻褄が
合わないぞ

わかっただ

腹ん中さ子の
いねえオナゴだけ
打つだ

んだべ

んだ

おらたちは
数だば
負けねえ
いざとなったら
オナゴどもを
けしかけて
押寄せるだ
プーン
プ
ン
これ
落着き
なさい
プ
これ
プ
ン
おっとっと
プ
ン
ン
プ

オシマイ